

■質問 杭配置の入力方法を、教えてください。

■回答 杭配置の入力方法を、下記に示します。

■杭配置概要 (下図参照)

- ①1~9 本杭について、配置可能です
- ②基礎盤は[初期形状]で設定されます
- ③2、3、6、7、8 本杭については、回転設定することにより[回転形状]に配置換えが可能です
- ④基礎盤配置は、[初期形状] → [回転形状] の手順となります

■杭配置形 設定方法

・[「部材リスト・独立基礎」ダイアログ]の表示

メインメニュー・躯体 → 部材 → 独立基礎 → 「独立基礎」ダイアログ表示 → 必要データ入力:フーチング厚・下端深さ・杭本数・杭間隔・端あき・形状タイプ・杭符号 (次頁図参照)

■基礎盤(杭)配置 [初期形状]

当該Znクリック → 躯体 → 平面配置 → 「平面配置」表示 → 柱芯右クリック → 節点部材 → 「節点部材」ダイアログ表示 → 独立基礎・基礎符号選択 → OKボタン

■基礎盤 [回転形状] 設定方法

当該Znクリック → 躯体 → 平面配置 → 「平面配置」表示 → 基礎符号右クリック → 属性変更 → 「独立基礎データ」ダイアログ表示 → □主軸 X軸方向(度):0 or 90 入力 → OKボタン (次頁図参照)

(参考図)

[配置可能な杭配置]

杭本数	2	3	4	5	6	7	8	9
形状タイプ	(1)	(4)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(1)
主軸方向	0° 方向	0° 方向	0° 方向	0° 方向	0° 方向	90° 方向	0° 方向	0° 方向
基礎盤形状 ★[初期形状]								
基礎盤寸法	$Lx = P + 2E$ $Ly = 2E$	—	$Lx = P + 2E$ $Ly = P + 2E$	$Lx = \sqrt{2}P + 2E$ $Ly = \sqrt{2}P + 2E$	$Lx = 2P + 2E$ $Ly = P + 2E$	$Lx = 2P + 2E$ $Ly = \sqrt{3}P + 2E$	$Lx = 2P + 2E$ $Ly = \sqrt{3}P + 2E$	$Lx = 2P + 2E$ $Ly = 2P + 2E$
主軸方向	90° 方向	90° 方向			90° 方向	0° 方向	90° 方向	
基礎盤形状 ★[回転形状]								
基礎盤寸法	$Lx = 2E$ $Ly = P + 2E$	—			$Lx = P + 2E$ $Ly = 2P + 2E$	$Lx = \sqrt{3}P + 2E$ $Ly = 2P + 2E$	$Lx = \sqrt{3}P + 2E$ $Ly = 2P + 2E$	

※ 1本杭の形状タイプは (1)。

P : 杭ピッチ C : $\frac{\sqrt{3}}{2} \times P$
E : 端あき D : $\frac{\sqrt{2}}{2} \times P$

(参考図)

[杭配置形 設定方法]

[部材リスト・独立基礎] ダイアログ

	[2本杭]	[7本杭]	[8本杭]
	F2	F7	F8
フーチング	1200 (1200) 1:-2000 n:2 ※1	1200 (1200) 1:-2000 n:7	1200 (1200) 1:-2000 n:8
杭配置	800 e:400 (1) k:P1 ※2	800 e:400 (1) k:P1	800 e:400 (2) k:P1

※1 1200 (1200) 1:-2000 n:2
 (杭本数)
 (層からのフーチング下端深さ)
 (フーチング先端厚: 元端厚と同じ場合は省略可)
 (フーチング元端厚)

※2 800 e:400 (2) k:P1
 (杭符号: 「杭設定」ダイアログで定義した杭符号, [No. 7104]参照)
 (フーチング形状タイプ)
 (杭の端あき寸法 [mm])
 (杭間隔寸法 [mm])

[基礎盤の回転形状設定方法]

[「独立基礎データ」ダイアログ]

